

特集

外国人労働者問題を考える

超少子高齢社会を迎え、労働力不足を補うための手段として、女性や高齢者の積極活用に加えて、外国人労働者の受入れ・活用について経営者団体をはじめ、政府・省庁でも対応策が検討されています。

組合員の雇用確保に重点を置いている労働組合にとっても、外国人労働者問題は重要な関心事項です。今号では、労働組合の立場から「外国人労働者問題を考える」をテーマに特集を組みました。金属労協の基本的考え方をはじめ、金属各産業別の外国人労働者受入れの実態と課題について紹介

すると共に、外国人研修制度の実態や日系人集住都市の現状と課題についても考察します。また外国人労働者から見た日本の社会や職場についての座談会、ドイツや韓国など海外における外国人労働者受入れの対応事例についても紹介します。

また、日本における外国人労働者の実態と課題について掲載すると共に、労働組合の対応事例として、人道的立場から外国人労働者を支援するJAMの取り組みについても紹介します。

(編集・文責 IIMF-JC 組織総務局)



Illustration : しおたまこ